

年 組 名前：

問1

いたもの しゅうり みなみやまなし
傷んだ物などを修理する「南山梨

たからさいせいだん かっどう きかく
お宝再生団！」活動を企画した

ねら なん しぜんご
狙いは何ですか。35字前後で

ぶんちゆう め が
文中から抜き書きしてください。

.....
.....
.....
.....

問2

こんかい かっどう しゅうり さいせい
今回の活動で修理・再生され

いらいぬし ひ わた たから てん
依頼主に引き渡された「お宝」6点の

うち、3つを挙げてください。

.....
.....
.....

問3

あなたにとっての「お宝」を

(2022年1月24日付 山梨日日新聞 20面)

ひとつ書いてください。また、その理由は何ですか。

・ お宝 →

・ 理由 →

修繕が済んだ依頼品を前に感謝の言葉を述べる依頼者(左) 身延・下部ホテル



再生「お宝」引き渡し

峡南地域の職人が陶器や絵画などを修理、再生する活動「南山梨お宝再生団！」で、修繕が済んだ「お宝」の依頼主への引き渡しが22日、身延町上之平の下部ホテルで行われた。
修理依頼者や担当した職人約20人が出席した。修理が済んだ約100年前に作られたという座布団や欠けた雨焔硯、ひびの入った天狗の面など6点が依頼者の前で披露された。修理のポイントやお宝にまつわるエピソードの紹介もあった。仕上がった品と「再生し、依頼者は感激。職人に感謝の言葉を述べた。」

身延 依頼者、職人に感謝

座布団を依頼した富士川町小室の自営業若林美緒さん(41)は「新品みたいになかなかになって驚いた。日々の生活の中で大切に使っていた」と喜んだ。
再生活動は、峡南地域の観光事業者らでつくる一般社団法人「SZAC(スザク)南山梨」(矢崎道紀代表理事)が主催。雨焔硯や市川和紙、西嶋和紙、印章といった職人の技術の高さを発信しようと企画した。
22日は、無観客で開催し、受け渡しの様子を収めた動画は法人のホームページで2月上旬に配信する。(飯野裕平)